

第三章 研究対象

3-1 はじめに

本章では研究対象（対象店舗・対象データ）について述べる

3-2 調査対象店舗

本研究の調査対象は本研究の主旨を理解し、販売データの提供に応じてくれた大学生協京都事業連合（以下：京都事業連合）とその管内にある京都・滋賀・奈良の大学生協とする。

また、大学生協購買部で販売している商品分類には文具、機器、食品などがあるが、商品一つ一つの売り上げ個数が追えるデータが存在する点、環境配慮かどうかの判断基準が存在する点、購入側である学生が日常的に購入し、仕入れ・販促などに関与しやすい（家具のような大型商品類は購入数、購入頻度、購入者が少ないため、関与できる過程自体が少ないため除外）点という3点から対象を文具分類とする。

3-3 調査対象店舗の選定

京都事業連合管内には49の大学生協購買部が存在するが、その中には府庁購買など購買層の異なる店舗や、文具販売のない店舗なども含まれているため、下記1.～3.の条件に当てはまる店舗を選定した。

1.大学生を対象としている店舗

2.一定数の文具販売を行っている店舗

（PC 機器類や書籍のみで文具販売を行っていない店舗・文具販売を行っているが取り扱い点数が少なく、同じもしくは隣接するキャンパス内に文具を販売している別の店舗が存在する店舗を除外）

3.販売データ抽出が可能な店舗（他店舗へ振り替えて記録されており、店舗単独での確認ができない店舗を除外）

1.～3.の条件により選定された店舗数は31であった。

3-4 使用するデータの範囲

店舗での商品の流れには仕入れ、陳列、販売の段階がある。本来、商品の流れを調査する上では仕入れ時のデータ、販売時のデータをとともに見る必要がある。しかし、現在のシステムで大学生協京都事業連合が把握、管理している各店舗の仕入データは部分的でありすべてを網羅したデータを提供するのは難しいとのことだった。そこで本研究では分析に使用するデータを商品が販売された後の販売データに絞り、調査することとする。（図3-1）

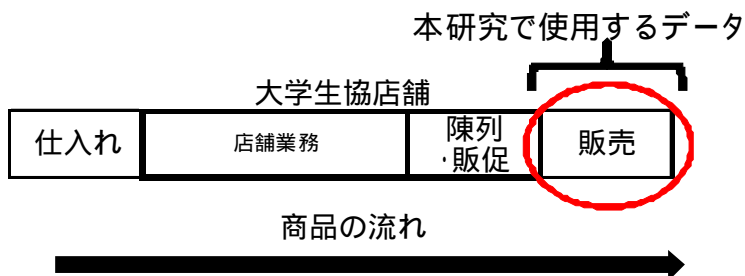


図 3-1 本研究で使用するデータの範囲

3-5 使用するデータの概要 1

大学生協京都事業連合の協力を得、京都・滋賀・奈良地域の大学生協 19 大学生協の店舗のうち、3-3 で選定した 31 店舗の文具全体の販売データを抽出した。今回入手できたデータは大学生協店舗の販売データのうち、EOS 登録もしくは POS 専用登録された商品の販売データである。

EOS 登録・POS 専用登録商品以外にはラベル打ちの商品があり、これらはバーコードがない商品である。具体的には理系学部で使われる模型やスチレンボード、画用紙のバラ売りなどがこれにあたる。ラベルうちの商品は商品名がデータとして残らずカウントできないため、本研究では販売した商品名と個数が判別できる EOS・POS 登録商品の合計のデータを使用する。(図 3-2)

対象期間を抽出可能な 2006 年 9 月から 2008 年 11 月までとした。

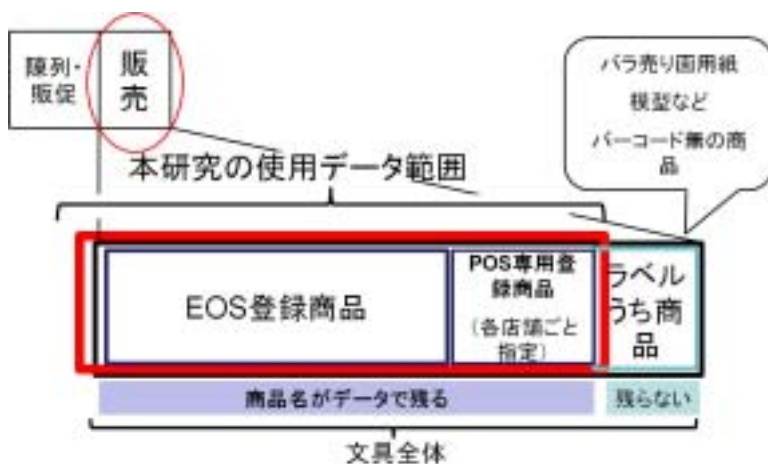


図 3-2 本研究で使用するデータ概要

3-6 使用するデータの概要 2 (文具内での分類について)

使用する文具のデータは大学生協京都事業連合の分類の仕方によって分けられている。まず、中分類として筆記具、ファイル、補助文具などで分けられていてその中でさらに、小分類として筆記用紙ならば、B5 ノート、A4 他ノート、レポート用紙など、ファイルな

らば2穴ファイルA4, 2穴ファイルB5, クリアホルダーA4, などにわけられている。小分類よりもさらに細くなると具体的な個々の商品, たとえばマルマン ルーズリーフ B5 L1200 などになる。表 3-1 に概要を示す。本研究でこれ以降分類という言葉を使用するときは小分類のことを指す。

表 3-1 文具分類概要

大分類	中分類	小分類	単品
文具	筆記用紙	B5ノート	...
		A4他ノート	...
		レポート用紙	...
		原稿用紙	...
		B5リーフ	マルマン ルーズリーフB5 L1200
	
	特殊用紙	上質・中質・更紙	...
	
	ファイル	2穴ファイルB5	...
		2穴ファイルA4	...
		クリアホルダーA4	...
	
	筆記具
	補助文具
製図・デザイン用品	
レター・手帳他	
その他	

この文具分類の中にはOA サプライ(コンピューター用紙, メディアファイル)やデータメディア(フロッピーディスク, MO ディスク), テープ類(カセットテープ, ビデオテープ)も含まれるがこれらは大学の学部の性質上全く取扱いがない店舗や, 大規模の大学でPC など機器類とともに他の文具とは別店舗で販売されている店舗など, 取扱いに大きな差があるため本研究では除外した。

本研究で文具として取り扱うのは, 大学生協京都事業連合で文具として分類される中分類 11 分類の中で, 前述したOA サプライ, データメディア, テープ類の3分類を除いた8分類(筆記用紙, 特殊用紙, ファイル, 筆記具, 補助文具, 製図・デザイン用品, レター・手帳他, その他)に分類される商品とする。

